

みどりの風

令和7年3月25日発行 No.21

校長 池田 誉

すばらしかった卒業式

3月21日(金)に、令和6年度卒業証書授与式を挙行し、立派に成長した8名の卒業生を無事に送り出すことができました。卒業式の主役は6年生ですが、1～5年生も、お世話になった6年生の晴れ舞台を支える大事な役割を担っています。式に向けて「お別れの言葉」のセリフを、覚えて大きな声で言えるように何回も繰り返し練習しました。卒業式本番でも、すばらしい姿勢で6年生の姿をしっかりと見つめ、堂々としたお別れの言葉、美しい歌声、大きな拍手で卒業生との別れを惜しみました。厳かな中にも温かさのあるとてもよい卒業式になりました。卒業式は、在校生にとって1年間の成長ぶりを確かめることのできる大事な機会です。この日の姿から、まもなく始まる新しい学年での活躍がますます楽しみになりました。



富原スポーツ少年団の輝かしい歴史を受け継いで

2月28日(金)に富原公民館で令和6年度富原スポーツ少年団卒団式がありました。野球やバレーボールをがんばってきた6年生の4名が卒団を迎えました。子どもたちは、運動することの楽しさ、いろいろな人と関わること、勝負の厳しさなど、多くのことを学んだと思います。中学校ではこの経験を生かして、部活動で活躍してくれることでしょう。



また、今年度で富原スポーツ少年団は休団となるということで、今までの監督・指導者の方もいらっしゃって、立ち上げの頃からの貴重なお話を聞かせてくださいました。歴代のユニフォームやトロフィー、賞状なども展示され、約50年に及ぶ輝かしい歴史をふり返ることができました。改めて、スポーツを通して地域の子どもの育成に力を注いでくださった方や、子ども時代にスポ少でがんばり、大人になってからは親として指導者としてバトンを受け継いだ保護者の方々の熱い思いを感じることができました。今後もいろいろな形で、地域の子どもたちがスポーツに親しむ活動に力を貸していただけると幸いです。

令和6年度をふりかえって、そして令和7年度へ

25日(火)の修了式をもって、令和6年度を無事に終えることができました。保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動にご協力いただき、本当にありがとうございました。

この1年間で、子どもたちは大きく成長しました。今年度から始めた全校朝読書と全校朝学習は、集中して学習に向かう素地づくりとなりました。また、一輪車、鉄棒、なわとび、マラソンの業間運動でも、上の学年の児童ががんばる姿を下の学年の児童が目標にして熱心に練習し、大きく上達しました。子ども同士助け合って練習する様子も多く見られ、学年を超えた豊かな人間関係は、小規模校ならではの強みであると改めて感じました。

多くの学校行事も充実していました。運動会や学習発表会という大きな行事では、地域の方が多数参加してくださり、大変盛り上がりました。また、5・6年生の宿泊体験学習や姫新線を利用した勝山への遠足など、実生活につながる豊かな経験をすることができました。また、他校との交流学习も活発に行われました。

日々の子どもの成長のために、教職員も努力を重ねました。担任を始め、授業をする教員は、子どもたちの状況を見ながら、どのような教材を使えばよりわかりやすいか、力をつけるためにどんな学習活動を行えばよいかを常に考え、日々の授業に力を注ぎました。また、校務員を中心に、子どもたちが気持ちよく過ごせるように、きれいな運動場や玄関の花、校内の楽しい掲示物などの環境を整えました。

保護者の方々も、授業参観への参加、PTA活動への熱心な取組、PTA奉仕作業や運動会の準備・片づけなど、積極的に動いてくださいました。親の熱意が子どもたちにもしっかりと伝わっています。「富原小学校 学校運営協議会」は2年目を迎え、地域の方と一緒に活動する機会がさらに増えました。富原の魅力について児童・保護者・地域の方で話し合ったことから生まれた「星空観察会」、夏休みの子どもの居場所作りとして地域の方と社会福祉協議会が連携して行われた「サマースポット」、伝統のお飾りづくりから発展した「とんど」などの新しい取組が行われました。

令和7年度は創立150周年。学校と地域とのつながりをより感じられる1年になります。多くの地域の方に学校に来ていただき、記念すべき年を地域全体で祝いたいと思います。

最後になりましたが、私自身も4年間の校長としての任を終えることになりました。すばらしい児童に囲まれ、保護者の皆様、地域の皆様の温かい支援をいただき、とても充実した4年間でした。これからも地域と学校が一体となって、元気な学校づくり、地域づくりがさらに進むことを期待しています。大変お世話になりました。ありがとうございました。

富原小学校長 池田 誉

